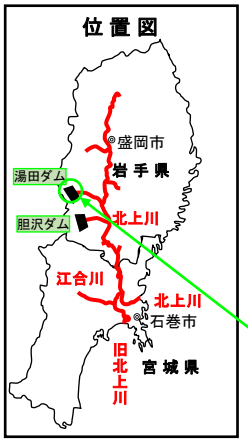
北上川水系流域治水プロジェクト2.0×グリーンインフラ【位置図】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み　『歴史と文化を反映した賑わい水辺空間の創出』

○北上川は、幹川流路延長249 kmの東北第一の一級河川で、古くから舟運等により地域交流の軸として利用されており、また近年でも川下りや各種イベント等に多く利活用され、地域の文化の基盤かつ地域の交流拠点となっている。

○人と河川とのふれあいの場を確保するため、「かわまちづくり」を軸として、親水護岸など水辺と触れ合える環境の場を整備・管理し、親水活動や環境学習、地域の交流・連携等の拠点とするなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を促進する。



■グリーンインフラメニュー

●健全なる水循環の確保
- 森林整備による水源涵養機能維持増進等

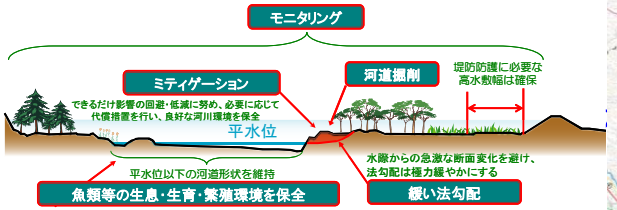
●治水対策における多自然川づくり
- 生物の多様な生育環境の保全
- 連続性の確保
- 公園貯留（維持管理が容易で安全性の高い防災調整池）

●魅力ある水辺空間・賑わい創出
- 一関地区かわまちづくり・西和賀町かわまちづくり
- 舟運イベント（北上川・開運橋上流）

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- 御所ダム、四十四田ダム、田瀬ダム、湯田ダム、胆沢ダムを活用したインフラツーリズム
- 田んぼダム実証事業に係る現地説明会の開催

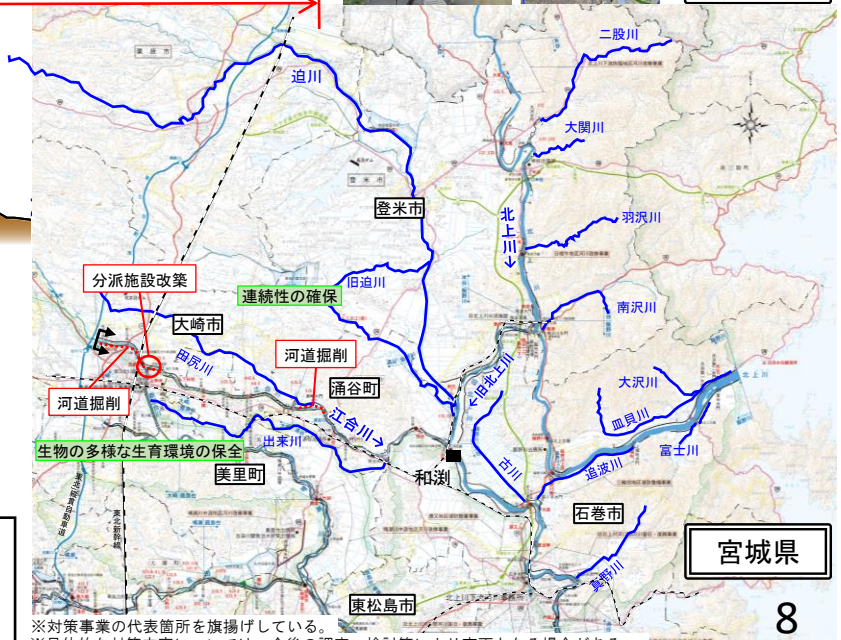
●流域治水に資する機能の保全・活用
- 生物の多様な生息環境の保全（たんぼダムの取組拡大）
- ため池の保全・活用

【全域に係わる取組】
- 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
- 水質の保全
- 地域のニーズを踏まえた賑わい空間創出への連携・支援
- 田んぼダムの取組拡大
- ため池の保全・活用
- 良好な景観の保全



悠久の流れ北上川（岩手県盛岡市）

凡例
- 河道掘削
- 大臣管理区間



※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。